

## セーフシティさかい推進事業



## 1 セーフシティさかいとは

「堺セーフシティ・プログラム（※）」のこれまでの取組と実績をふまえながら、女性や子どもをはじめ、すべての市民が安心して暮らせる社会を実現するために、令和2年度より活動名称を「セーフシティさかい」とし、取組を進めている。

関連部署や関係機関との連携を深めながら取組を推進していく必要があるため、推進組織として「セーフシティさかい推進会議」を設置している。

## ※堺セーフシティ・プログラム

UN Women（ジェンダー平等と女性のエンパワーメントのための国連機関）は、セーフシティーズ・グローバル・イニシアティブ（女性や女兒への暴力のないセーフシティー世界計画）を呼びかけ、安全な都市空間の形成を目的として、「公的空間」における女性と女兒に対する性暴力やセクシュアル・ハラスメントを防止・減少させる有効な対策を構築し、最終的に世界各都市に有効な防犯モデルの提供を実施してきた。

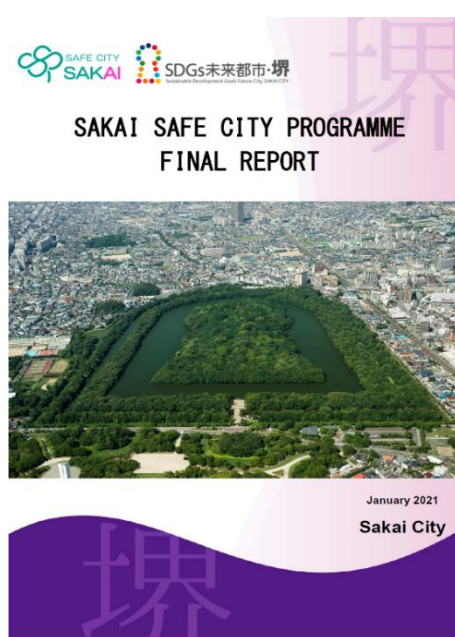
堺市では、「すべての女性や子どもにとって安全・安心なまち」をめざし、「堺セーフシティ・プログラム」として取り組んできたが、令和元年度で5年間の計画期間が終了した。

## 2 堺セーフシティ・プログラム ファイナルレポートの作成

堺セーフシティ・プログラムの5年の取組の振り返りとして、取組前と取組後の状況を比較し、取組による成果とその課題及び評価をまとめ、「堺セーフシティ・プログラム ファイナルレポート」を作成、UN Women 等関係機関へ提出した。

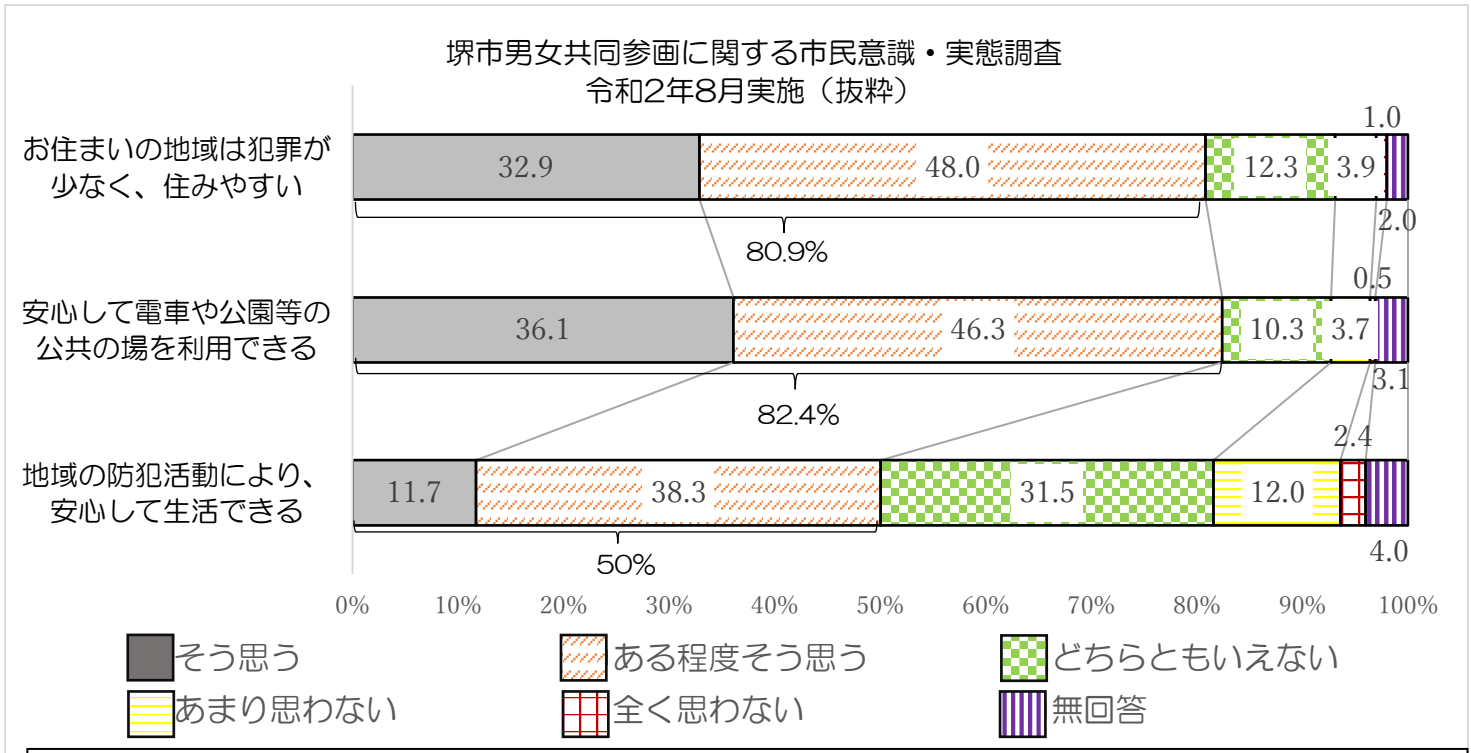
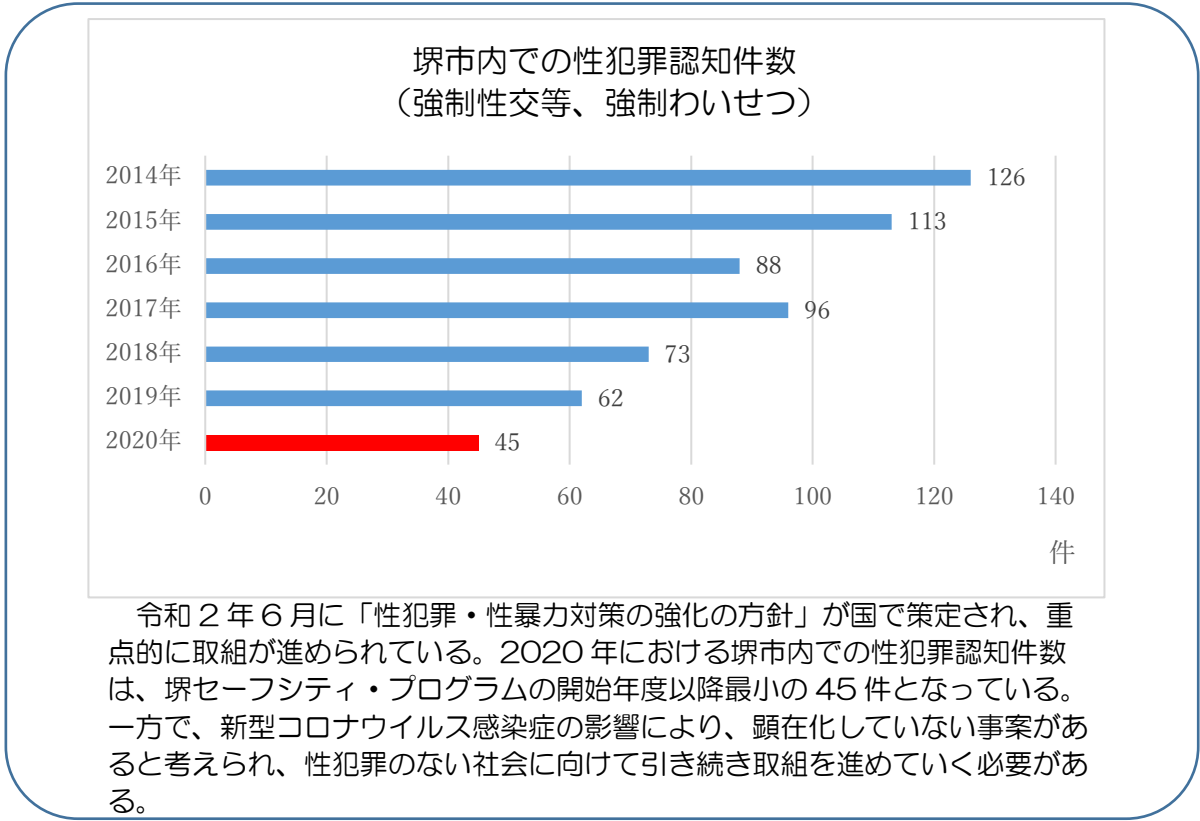


日本語版



英語版（国連に提出）

### 3 主な評価指標について



上記3項目は、令和2年8月に開催した「セーフシティさかい推進会議」において、安全・安心なまち堺の実現に向けた指標として、地域の安全・安心に関する項目を指標として設定したものである。

「お住まいの地域は犯罪が少なく、住みやすい」や「安心して電車や公園等の公共の場を利用できる」は、80%以上の市民が「そう思う」または「ある程度そう思う」と答えた。一方で、「地域の防犯活動により、安心して生活できる」については、「そう思う」または「ある程度そう思う」と答えた市民の割合は50%であった。

#### 4 セーフシティさかいに関する主な取組事業

##### デートDV等予防出張セミナー

重大な人権侵害であるDV・デートDV・性暴力などあらゆる暴力の根絶のためには、次世代を担う若者が、正しい知識を身に付け、被害者にも加害者にもならないという当事者意識を高めることが特に重要である。このような認識のもと、堺市内の小学校、中学校、高校、大学、専門学校の学生を対象に、専門知識を持つ団体等から講師を派遣し、デートDV・性暴力の予防啓発セミナーを実施している。



デートDV等予防出張セミナー(高校生、令和元年度)

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、申込が前年度より減少した(9校、12講座)が、1,461人が受講し、アンケート結果でも9割以上の生徒がデートDVへの理解を深めたと回答している。セミナーを受講したことで、生徒が当事者意識を持ち、暴力は許されないものであることが理解できたことがわかる。

##### 大阪府立大学学園祭・国際女性デーでのパネル展示

堺市では、セーフシティさかいに関する取組を、様々な機会を捉えて周知している。毎年11月に開催される大阪府立大学学園祭(白鷺祭)において、セーフシティさかいに関する取組を紹介するパネル展を実施している。児童虐待と女性への暴力防止の運動である「オレンジ&パープルリボンキャンペーン」の取組も周知している。大阪府立大学の学園祭での啓発のため、主に若年層への啓発を目的としている。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、学園祭自体が中止となり、パネル展を実施することはできなかった。

令和3年3月7日には、「国際女性デー映画上映会」を開催。すべての分野において男女が対等に参画できる男女共同参画社会の実現をめざし、男女共同参画や女性の人権に関するテーマの映画を上映した。同時に、セーフシティさかいに関するパネル展も実施した。



国際女性デーでのパネル展示(東文化会館)

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言明けであったことから、参加者数は56名だった(感染拡大防止対策のため、定員を減らして実施)が、参加者の多くがパネルも見学し、セーフシティさかいの取組を周知することができた。